

学校教育目標：夢や目標に向かって仲間とともに主体的に学び、未来を創造できる生徒の育成

学校だより 【保護者・地域の皆様へ】 第1号 2018年(平成30年)4月16日

鷹取中学校

笑顔であいさつ日本一

StepUp 鷹取
~Perfectを目指して~

福山100教育

●第70回入学式を実施しました。



新入生入場



【1 1 R 学級開き】



【1 2 R 学級開き】



【1 3 R 学級開き】

●学校教育目標の達成に向け、資質・能力の育成をめざします。

学校教育目標「夢や目標に向かって仲間とともに主体的に学び、未来を創造できる生徒の育成」

鷹取中学校区では、変化の激しい社会を、子どもたちが将来たくましく生き抜くために、義務教育9年間で育成を目指す資質・能力（21世紀型スキル&倫理観）を「知識・技能」「課題発見・解決力」「主体性」の3つに整理しました。

学校で子どもたちは日々の授業、学級活動、部活動など様々な学校生活の場で「目標」を設定し、自ら考えた「問い」や「課題」について、その解決に向け、論理的な思考を働かせます。日々の「目標」の達成を目指して努力することが、より大きな目標としての「夢」の実現へのつながります。

夢や目標の達成は一人ではできません。鷹取中学校は伝統的に「仲間づくり」を大切にした学校教育を進めてきました。創立50周年記念オリジナル曲「CHANCE~未来へ~」の歌詞にある「なによりも大切な仲間」とは、そのことを象徴しています。夢や目標の達成に向かって課題を解決する際、一人ではなく仲間と協働しながら新たな価値を生み出すことなどを通して、「課題発見・解決力」を身に付けます。

子どもたちが資質・能力を身に付けるためには、仲間とともに学ぶ「主体的」である必要があります。教えられたことを一方的に受け取るだけでなく、学習者が自ら能動的に学びを展開することです。子どもたちは主体的に学ぶ過程で自分自身が基点となり、課題解決のため自分から行動することができる「主体性」を身に付けます。

資質・能力を身に付けた子どもたちは、自らの人生や社会をよりよく変えていくことができるという実感を持ち、地球規模の問題にも関わり、持続可能な社会づくりを担っていくこととする意欲を持つようになることが期待できます。「未来を創造できる」とは、義務教育で身に付けた資質・能力を駆使して、変化の激しい社会においてよりよい社会と幸福な人生を自ら創り出してほしいという願いを込めています。

全校生徒236人が、毎日元気で学校に来て、仲間たちとともに成長し合い、力を付けられるよう、教職員一同全力を尽くします。保護者・地域の皆様の引き続いてのご支援よろしく申し上げます。